

迅速診断が必要な理由

—メチシリン耐性黄色ブドウ球菌（MRSA）の感染とその拡大の予防—

迅速な対応がすべてであり、患者の治療の質が関係する場合は特にそうである。

メチシリン耐性黄色ブドウ球菌（MRSA）は保菌者/感染者の皮膚または汚染された環境や機材類に直接触れることによって容易に広がり、その結果、重篤な合併症および生命に危険を及ぼしかねない感染症を引き起こす可能性がある。このため、病院の医療スタッフおよび患者集団の健康と福祉を確保するうえで、MRSA の迅速診断がきわめて重要となる。

考えられる MRSA 迅速診断のメリットは以下のとおりである：

A. MRSA 保菌患者の迅速同定

- 保菌患者および非保菌患者の MRSA 感染症発症リスクを最小限に抑えるための、接触に関する注意事項およびその他の予防措置の迅速な実行
- 非保菌患者や未感染患者集団からの保菌/感染患者の隔離
- 「早期の警告」通知および追加的な予防安全作業の採用による、全体的な治療安全度の向上
- 必要な場合、適切な抗菌薬の投与および、必要に応じた環境の清掃
- 病院全体での MRSA 拡散の著しい減少
- 感染症の重篤度により、患者 1 人当たり約 9,275～35,367 ドルに達する MRSA 感染症治療費用の回避

B. MRSA 非保菌者の迅速同定

- 事前隔離から生じる医療コストの回避
- 患者を安心して、非保菌患者や未感染患者集団に入れることができる
- 結果的に多剤耐性病原体の出現を助長しかねない不必要な抗菌薬投与の回避
- MRSA 関連感染およびその他の医療関連感染に係る医療費用の回避
- 保菌/非保菌の早期確認による安定的医療の確保および患者と医療従事者に対する安心の提供

まとめ： 迅速同定 = 迅速なアクション

MRSA を早目に同定できればできるほど迅速な対応が取れ、早期の治療及び予防策の実施が可能になるため、MRSA 関連の感染症を減らし、制御することができる。